

安全データシート

ページ: 1/12

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 15. 08. 2024

製品: **Hydropalat® WE 3185 EL**

バージョン: 5.2

(30692213/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 21.10.2025

1. 化学品及び会社情報

品名:

Hydropalat® WE 3185 EL

用途: 湿潤剤, インキもしくは塗料用添加剤, 均染剤

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

急性毒性: 区分4 (経口)

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分1

【GHSラベル要素】:

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

H318 重篤な眼の損傷。

H302 飲み込むと有害。

注意書き（安全対策）:

P280 保護眼鏡と保護面を着用すること。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P264 取扱い後は汚染された体の部分をよく洗うこと。

注意書き（応急措置）:

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P310 直ちに医師に連絡すること。

P330 口をすすぐこと。

注意書き（廃棄）:

P501 適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

GHS分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性:

規制／注記にしたがって保管および取り扱いを行えば、特に危険はない。

この界面活性剤は、洗剤に関する規則（EC）No. 648/2004にある生分解性の基準を満たす。この判定を立証するデータは、加盟国の監督官庁の管理になり、加盟国の直接の要求または、洗剤メーカーの要求により加盟国に利用される。

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 単一製品

記載の物質に基づくポリマー:

ヘキサン-1-オールのエチレンオキシド付加物

CAS番号: 31726-34-8

GHS分類に寄与する成分

2-(2-ヘキシルオキシエトキシ)エタノール

含有量 (W/W): $\geq 1\%$ - $< 7\%$

CAS番号: 112-59-4

化審法: (7)-97

労働安全衛生法: (7)-97

急性毒性: 区分 5 (経口)

急性毒性: 区分 4 (経皮)

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 1

特定標的臓器毒性 (単回暴露): 区分 3 (眠気とめまい)

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気の場所に移動させ、医師の診察を受けること。直ちにコルチコステロイドエアゾール製剤を吸入すること。

[皮膚に付着した場合]:

直ちに水で十分に洗い流した後無菌包帯を巻き、医者の診察を受ける。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医者の診察を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。、(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水, 粉末, 泡

[火災時の特有の危険有害性]:

有害な蒸気, 炭素酸化物

フューム/霧の発生 火災の場合、前述の物質/物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器を着用すること。

[追加情報]:

燃焼物および火災条件により危険度が変わる。汚染された消火用水は、法令に従い処分すること。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

非緊急対応要員の場合保護具を着用する。保護具に関する情報については安全データシート第8章を参照のこと。

緊急時対応要員の場合適切な保護対策をとること。

[環境に対する注意事項]:

容器に汚染水／消火用水を取り集める。排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

大量の場合: せき止める。ポンプで容器に回収する。

残渣の場合: 適切な吸着剤に吸着させる。

法令に従って吸着剤を廃棄すること。

[追加情報]: 漏出／流出により床が滑りやすくなるので注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

作業場では飲食や喫煙をしない。休憩前や作業終了時に手をよく洗うこと。飲食場所に入る前に、汚れた衣服や保護具は脱ぐこと。

安全取扱注意事項:

注意事項は特になし。

[保管]

適切な包装容器材料: ステンレス鋼 1. 4301, ステンレス鋼 1. 4401, ステンレススチール1. 4539, ステンレス鋼 1. 4541, ステンレス鋼 1. 4571, ガラス, 高密度ポリエチレン (HDPE), 低密度ポリエチレン (LDPE), カーボンスチール(鉄), スズ (ブリキ)

保管条件に関する追加情報: 容器は密閉して、乾燥した涼しい場所に保管する。

包装された製品は、低温もしくは凍結によって損傷することはない。バルクは、固化から保護しなければならない。

次の温度以上にならないように保護すること: 70 ° C

製品特性は制限温度を越えると可逆的変化を起こす。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

物質固有の職業曝露限界値は知られていない。

【保護具】

[呼吸用保護具]:

呼吸保護具（蒸気／エアゾール発生の場合） 固体および液体微粒子に対して中性能粒子フィルター（例：EN 143または149、タイプP2またはFFP2）

[手の保護具]:

耐化学薬品保護手袋

（標準化されたもの。 例としてJIS）

[眼の保護具]:

ゴーグル型保護メガネ（ケージゴーグル）（EN 166準拠）および保護面

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:

上下一体型作業衣の着用が望ましい。 作業場では飲食や喫煙をしない。 労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体	
色:	無色～やや黄色	
臭い:	製品固有のもの	
pH:	約 7 (50 g/l, 23 ° C)	(DIN EN 1262)
融点:	< 0 ° C	(その他)
沸点:	> 200 ° C (1,013 hPa)	(internal test)
引火点:	176 ° C	(DIN 51758)
蒸発率:	値は、ヘンリー則定数もしくは、蒸気圧から類推することができる。	
可燃性 (固体/ガス):	引火性ではない。	
爆発下限界:	分類と表示に関連しない液体に関するものである。、爆発下限界は、引火点より5-15°C低い可能性がある。	

爆発上限界:

分類と表示に関連しない液体に関するものである。

自然発火温度: > 250 ° C (DIN 51794)

熱分解: > 150 ° C (社内試験法)

自己発火性: 自己発火性なし。

自己発熱性: UNクラス 4.2 の自然発火性物ではない。

爆発危険有害事項: 爆発性なし。

火災を引き起こす性質: 火災伝播性はない。

蒸気圧: < 0.1 hPa (20 ° C) (社内試験法)

密度: 約 1 g/cm³ (20 ° C) (DIN 51757)

相対密度: データなし。

相対ガス密度（空気）: 測定されていない。

水に対する溶解性: 可溶 (15 ° C)

湿度測定: 非吸湿性

溶解度（定性的） 溶媒: アルコール類
可溶

n - オクタノール/水分配係数（log Pow）: 技術的に本試験を実際に行う事は出来ない。

表面張力: 48 mN/m (20 ° C; 1 g/l) (DIN EN 14370)

37.5 mN/m (20 ° C; 5 g/l) (DIN EN 14370)

粘度:

測定されていない。

動粘性率: 約 20 mm²/s (23 ° C) (社内試験法)

その他の情報:

必要に応じ、この章にその他の物理的、化学的パラメーターの情報が記載される。

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: > 150 ° C (社内試験法)

[混触危険物質]:

腐食性物質, ハロゲン, アルカリ類, 酸, 反応性化学物質

金属の腐食: 金属に対する腐食性はないと予測される。

[危険有害な分解生成物]:

通常の手扱い条件下で危険反応なし。

[危険分解物]:

通常の手扱い条件下で危険分解物なし。

化学安定性:

製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

反応性:

指示通りの貯蔵と手扱い条件下では有害な反応は起こさない。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 300 - 2,000 mg/kg (OECDテストガイドライン 423)

急性吸入毒性

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による):

測定されていない。

急性皮膚毒性

LD50 (半数致死量) ラット (経皮): > 2,000 mg/kg (OECDテストガイドライン402)

記載物質に関する情報: ヘキサン-1-オールのエチレンオキシド付加物

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 300 - 2,000 mg/kg (OECDテストガイドライン 423)

記載物質に関する情報: 2-(2-ヘキシルオキシエトキシ)エタノール

急性皮膚毒性

実験または計算によるデータ:

LD50（半数致死量） ウサギ（経皮）: 2, 001 – 2, 216 mg/kg (OECDテストガイドライン402に類似)

症状

情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。（他の）症状や影響については現時点で知られていない。

刺激性

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 刺激性なし (その他)

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 回復不可能な損傷 (その他)

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 2-(2-ヘキシルオキシエトキシ)エタノール

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 刺激性なし (EU指令 84/449/EEC, B. 4)

文献データ

記載物質に関する情報: ヘキサン-1-オールのエチレンオキシド付加物

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 刺激性なし (その他)

記載物質に関する情報: 2-(2-ヘキシルオキシエトキシ)エタノール

実験または計算によるデータ:

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 回復不可能な損傷 (OECDテストガイドライン405)

記載物質に関する情報: ヘキサン-1-オールのエチレンオキシド付加物

実験または計算によるデータ:

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 刺激性あり。（その他）

粘膜の刺激に関する記述は類似の組成を持つ製品のデータより

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

データなし。

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

データ不足のために分類されていない。

発がん性

発がん性の評価:

データ不足のために分類されていない。

生殖毒性

生殖毒性の評価:
データ不足のために分類されていない。

発生毒性

催奇形性の評価:
データ不足のために分類されていない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

注意: データなし。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:
データ不足のために分類されていない。

誤えん有害性

予測される吸入危険性はない。

その他該当する毒性情報

本品は未試験である。毒性に関する記述は、類似の組成をもつ製品に基づくものである。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類に対する毒性:
LC50（半数致死濃度）（96 h）> 100 mg/l, ゼブラフィッシュ（学名: Brachydanio rerio）(OECDテストガイドライン203、ISO 7346、84/449/EEC, C.)

水生無脊椎動物:
EC50（48 h）> 100 mg/l, オオミジンコ（学名: Daphnia magna）(OECDテストガイドライン 202-1)

水生植物:
EC50（72 h）> 100 mg/l, 緑藻（学名: Scenedesmus subspicatus）(92/69/EEC, C. 3)

EC10（10%影響濃度）（72 h）> 100 mg/l (成長率), 緑藻（学名: Scenedesmus subspicatus）(92/69/EEC, C. 3)

微生物/活性汚泥への影響:
EC50 > 1,000 mg/l
廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

魚類に対する慢性毒性:
データなし。

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:
データなし。

陸生生物に対する毒性の評価:
陸生生物に対する毒性についてのデータは得られていない。

移動性

環境区分間の輸送評価:
水面から大気中に揮発しない。
固形土壌相への吸着が可能である。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価（水中環境）:
易生分解性である。

除去情報:
> 60 % 理論値と比較した二酸化炭素発生量 (28 日) (OECDテストガイドライン301B、ISO 9439、92/69/EEC, C.) 易生分解性である。

総パラメーター

化学的酸素要求量 (COD) : (算出) 約 2,140 mg/g

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:
生体蓄積性はないと考えられる。

[追加情報]

環境面での最終到達点及び経路に関する追加説明:
生物学的廃水处理設備における処理は、法的小よび社内規則に従って行わなければならない。

その他の環境毒性情報:
本品は未試験である。環境毒性に関する記述は、類似の組成をもつ製品に基づくものである。土壌、水路、または排水溝に流さないこと。

13. 廃棄上の注意

国内の法令に従い廃棄するか焼却すること。
下水または排水経路による廃棄をしないこと。

[汚染された容器]:
汚染されていない容器は再利用できる。
汚染された容器は製品と同様に廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

	輸送規則では危険有害性物質に分類されていない
国連番号もしくはID番号	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

海上輸送

IMDG
輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号:	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
	海洋汚染物質: 非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

Sea transport

IMDG
Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number:	Not applicable
UN proper shipping name:	Not applicable
Transport hazard class(es):	Not applicable
Packing group:	Not applicable
Environmental hazards:	Not applicable
	Marine pollutant: no
Special precautions for user	None known

航空輸送

IATA/ICAO
輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号:	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

Air transport

IATA/ICAO
Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number:	Not applicable
UN proper shipping name:	Not applicable
Transport hazard class(es):	Not applicable
Packing group:	Not applicable
Environmental hazards:	Not applicable
Special precautions for user	None known

指針番号: 171

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

15. 適用法令

消防法: 第4類, 第3石油類, 水溶性

その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

16. その他の情報

用途に関する情報: 本品は工業用品質であり、記載または合意のないかぎり、用途は工業用のみとする。上述および推奨の使用法に記載されている。他の用途については、製造業者に問い合わせること。特に、特別な基準や規制の対象である製品に適用される。

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報が無いことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。